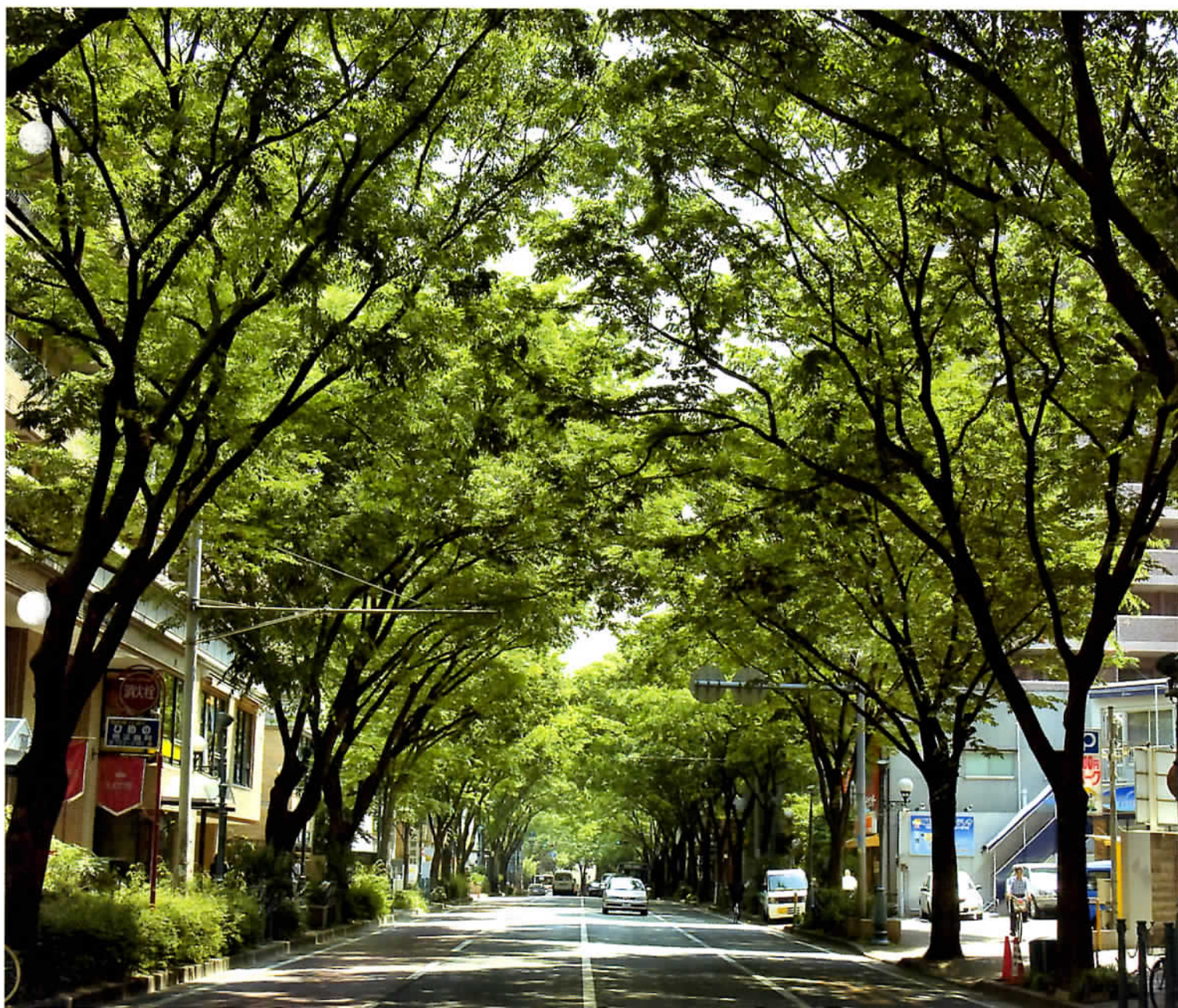




2010
6
VOL.112



中央区けやき通り

特集

平成22年度 通常総会報告



平成22年度福岡市シルバー人材センター通常総会が、5月27日(木)午前10時から福岡市民会館大ホールで、会員総数7,079名のうち、1,307名(委任状提出者3,672名)が出席して開催されました。

博多区の倉岡 洋一郎さんの司会進行により、江口 清一 理事が開会を宣言し、生田 征生 理事長のあいさつの後、吉田 宏 市長と久保 浩 市議会副議長からご祝辞をいただきました。

引き続き祝電披露の後、議長団及び議事録署名人の選出に移り、議長に早良区・柴田澄彦さん、副議長に東区・竹村仁志さん、西区・桑野孝春さん、議事録署名人に博多区・櫻井厚宏さん、中央区・岩男良二さんが選ばれました。

議案は、萩原信吾事務局長が説明を行い、全議案が原案どおり承認されました。

第6号議案が採決承認されたことにより、理事21名、監事2名が就任し、新役員を代表して生田征生理事長からあいさつがありました。

また、この総会をもって退任する役員の紹介があり、退任役員を代表して、中村善隆理事よりあいさつがありました。

最後に、岩本嘉宣理事による万歳三唱、田中邦美理事の閉会のことばで平成22年度通常総会は終了しました。

退任された役員の皆様には、センターの発展にご尽力いただきましてありがとうございました。大変、お世話になりました。

《議案》

- 第1号……平成22年度事業計画(案)
- 第2号……平成22年度収支予算(案)
- 第3号……平成21年度事業報告
- 第4号……平成21年度決算報告
- 第5号……社団法人福岡市シルバー人材センターの公益社団法人への移行について(案)
- 第6号……役員の選任(候補者)



新理事紹介

昼食後、アトラクションとして、福岡市消防音楽隊による演奏と、各区の皆さんによる演芸が行われ、最後にお楽しみ抽選会で幕を閉じました。会場は終始和やかな雰囲気になりました。



吉田福岡市長



みなさん、おはようございます。

理事長を仰せつかっています、生田でございます。今日はお忙しい中、このようにたくさんの皆さん方に通常総会にご出席をいただきまして、本当に有難うございます。

また、大変お忙しい中を、吉田福岡市長、それから久保市議会副議長にもおいでをいただいております。本当にありがとうございます。

福岡市シルバー人材センターは、昭和58年に発足をしております。高齢者の充実した生きがいづくりや健康維持のために、それからまた、地域のために何か出来ることをお手伝いしようということで、始まったわけですが、現在では、7,000人を超す会員の皆さん達を擁する団体となっております。

このようになりましたのも、福岡市をはじめ、関係団体からのご支援がありましたこと、そしてまた、理事をはじめ、会員の皆様方のご尽力の賜物だと思っております。敬意を表したいと思っております。

ところで、私達シルバー人材センターを取り巻く環境ですが、2年前のリーマンショックを契機として、非常に世の中は景気が悪くなっておりました。少し落ち着いてきて、これで上向きかなと思っていたら、今度はギリシャの経済危機ということで、まだこれから先も厳しい状況が続くそうです。このような状況を受けて、残念ながらシルバー人材センターも受注が減っておりますし、会員の皆様方の就業率も、残念ながら少し下がっているのが現状でございます。

そしてまた、昨年の事業仕分けによりまして、シルバー人材センターに対する国の補助金を3分の1減らしなさいという答えが出されたのですが、その後、皆様方にも署名活動などお願いしまして、3分の1というのは6分の1に圧縮はされましたけれども、やはり補助金の13%減ということで、運営としてはどこも苦しい状況になっているところであります。

それに加えて、平成25年の11月までに、公益法人

の制度が抜本的に見直されるということになりました。それまでの間に新しい公益社団法人にならないと色んなデメリットが出てくるということになりました。全国のどこのセンターもそうですが、新しい公益社団法人に向けての準備を進めているわけです。その中では、運営全般にかかわるような大きな課題もでてきております。特に、適正就業の推進ということです。

このように、私どもシルバーを取り巻く環境・状況というのは、非常に厳しいものがあります。ちょうど、何か節目の時なのかなという気がいたします。曲がり角かなという気もいたします。

そういう中で、私どもとしては、平成22年度を当初とします「中・長期計画」をつくりました。これは理事の皆さんを中心に、福岡市のまちづくりの計画や、関係のある計画も参考にしながら、会員の皆さんや発注者の皆さんへのアンケートもとって、私達の目指すべきものとして今年からの10年間の「中・長期計画」を作っております。シルバー人材センターができたときの基本の理念であります「自主・自立、共働・共助」をもとに、地域社会、あるいは、個人の市民の皆さんからのご要望をお受けしての就業活動についてはもちろんのこと、今月の10日、上川端商店街で、会員さんが作りました手工芸品を展示販売するという「シルバーギャラリー」も始めました。それから、東の支部では「シルバー農園」というのも始めております。このように、今までより幅を広げた活動をしていきたいということを盛り込んでいますし、駐輪場の管理など、指定管理者への積極的な取り組みというものの中に織り込んでおります。

市民の皆さんに更に信頼されるシルバーになっていきたい、そしてそれはもちろん、会員の皆さん方にも、より一層のこれまで以上の充実した生きがいづくりとか、健康づくりとか、それから地域への貢献とか、そのようなことを盛り込んだ計画ですので、これを皆さん方と一緒に進めていきたいと思っております。福岡市をはじめ、関係団体の方々にもこの計画のことをご理解いただき、ご協力をお願いしていきたいと思っております。

最後になりましたが、会員の皆様方、どうぞこれからも一層健康に留意されて、地域への貢献を通じて地域の活性化や、あるいは明るい高齢社会の建設に向けて一層ご活躍されることを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

アトラクション



福岡市消防音楽隊
「命のコンサート」



日本舞踊～龍馬残影
東区：小林 真喜子



日本舞踊～関東春雨傘
西区：平方 和子



カラオケ～日本の男
南区：中野 英子



カラオケ～紅の舟歌
城南区：田中 清子



カラオケ～おんなの朝
博多区：新川 弘人



にわか～博多にわか
中央区：浜 泰浩

アトラクションプログラム

●吹奏楽演奏

福岡市消防音楽隊
「命のコンサート」

●演 芸

1. 日本舞踊～龍馬残影
東 区：小林 真喜子
2. 日本舞踊～関東春雨傘
西 区：平方 和子
3. カラオケ～日本の男
南 区：中野 英子
4. カラオケ～紅の舟歌
城南区：田中 清子
5. カラオケ～おんなの朝
博多区：新川 弘人
6. にわか～博多にわか
中央区：浜 泰浩
7. 踊り～釜山港へ帰れ
早良区：すみれ会

●お楽しみ抽選会



踊り～釜山港へ帰れ
早良区：すみれ会



お楽しみ抽選会

新役員紹介

5月27日(木)の通常総会において、新役員として選任された方々を紹介をします。

(①氏名 ②担当 ③推薦団体もしくは所属支部)

理事長



①生田 征生
②理事長
③福岡市

常務理事



①池上 博巳
②常務理事
③福岡市

理 事



①織田 孝二
②理事
③福岡商工会議所

理 事



①藤村 文彬
②理事
③福岡市民生委員・
児童委員協議会



①遠藤 文彦
②理事
③福岡市社会福祉
協議会



①上野 茂伸
②理事
③連合福岡・
福岡地域協議会



①井崎 進
②理事
③福岡市

理 事



①石崎 哲夫
②委員長理事
③東支部



①坂井 佳晴
②委員長理事
③博多支部



①江口 清一
②委員長理事
③中央支部



①平松 敬司郎
②委員長理事
③南支部

なお、6月1日（火）に平成22年度第4回理事会を開催し、互選の結果、理事長に生田征生氏、常務理事に池上博巳氏が選出されたことを併せてお知らせします。

理 事



①堂園 完治
②委員長理事
③城南支部



①五島 勲夫
②委員長理事
③早良支部



①岩本 嘉宣
②委員長理事
③西支部



①竹内 勝治
②理事(安全・適正就業)
③東支部

理 事



①田中 邦美
②理事(広報・民間関係)
③博多支部



①北 米雄
②理事(剪定・除草・刈払・森と緑・緑地関係)
③中央支部



①荒木 博子
②理事(互助会・筆耕)
③南支部



①本田 正郎
②理事(就業開拓・普及啓発・独自事業)
③城南支部

理 事



①斉藤 茂材
②理事(駐輪場・放置自転車・配食・その他公共関係)
③早良支部



①井上 伸正
②理事(福祉・家事援助サービス)
③西支部



①三浦 雅子
②監事
③福岡市



①友谷 捷太郎
②監事
③南支部

監 事

平成22年度 各区役員紹介

	東 区		博 多 区		中 央 区	
副委員長	水谷 勇兵	大西 静香	倉岡 洋一郎	原 涼子	的野 房男	大田 和子
職群班長 及び 職域班長	堤 章 (剪定)	調 晴夫 (配食サービス)	桜井 厚宏 (街頭指導)	平畠 公子 (筆耕)	三穂 義勝 (駐輪場)	花谷 嘉明 (筆耕)
	宮田 和真 (刈払)	竹嶋 恵美子 (カネカシーフーズ)	中村 正勝 (試験官業務)	江上 文子 (福祉家事援助)	西川 勝幸 (街頭指導)	岡部 久子 (家事援助班)
	土屋 良雄 (除草)	橋本 咲子 (ゆめタウン)	深町 寛朗 (配食サービス)	前原 一輝 (刈払)	手嶋 善和 (剪定)	荒木 常喜 (除草)
	小林 真喜子 (筆耕班)	中原 泰 (広告)	吉武 恵一 (剪定)	天本 好美 (除草)		
	大西 静香 (福祉家事援助)	岡本 薫 (街頭指導)	武田 實 (公園)	池田 光雄 (自立の里 大地)		
	中嶋 正敏 (駐輪場)		竹原 隆 (東平尾公園)	宮脇 ミチエ (福岡アジア美術館)		
			堂園 末廣 (ザ・バック)	吉原 晴雄 (駐輪場)		
			峯 明 (学校法人造農文化学園)			
地域班長	山下 雅紹 (西ノ崎)	真田 武重 (千早西)	三浦 秀治 (博多 1)	阿部 悦子 (東光)	原口 昌士 (赤坂)	藤 英和 (笹丘 2)
	小川 祐弘 (奈多)	右田 正治 (城浜 A)	阿部 正敏 (博多 2)	西原 鴻介 (東吉塚)	田中 英明 (小笹)	伊藤 元 (当仁 1)
	藤 稜威子 (和自)	森永 美佐子 (城浜 B)	宮田 正明 (住吉)	平塚 正男 (板付北 1)	嘉村 直樹 (小笹 2)	長崎屋 俊一 (当仁 2)
	矢野 義雄 (美和台 A)	三方 光子 (名島 A)	青野 喜久夫 (美野島)	吉野 雄次郎 (板付北 2)	田中 稔 (草香江)	平賀 俊治 (春吉)
	藤井 規能 (三苦美和台 B)	長 武彦 (名島 B)	福島 政雄 (千代 1)	相浦 賢一 (弥生)	織田 滋 (草香江 2)	竹崎 敬悟 (南当仁 1)
	園田 博幸 (和自東 A)	堤 弘道 (舞松原)	中島 昱夫 (千代 2)	阿部 功 (宮竹)	篠原 澄江 (豊園 1)	湯浅 善次郎 (南当仁 2)
	松添 光昭 (和自東 B)	日野 晴生 (若宮)	砂川 道明 (吉塚)	山田 新一 (那珂 1)	岩崎 忠愛 (豊園 2)	芝田 勝俊 (福浜 1)
	野尻 利江 (香住丘 A)	規工川 勝弘 (青葉)	今川 統雄 (那珂)	内野 博 (那珂 2)	高安 昭 (簗子)	白石 研一 (福浜 2)
	永田 利治 (香住丘 B)	洲崎 勲 (八田)	桃田 建幸 (月隈)	間 和夫 (板付 1)	占部 久子 (大名)	大田 健一 (平尾)
	小島 武人 (香椎下原 A)	鶴 節治 (多々良 A)	徳丸 孝子 (東月隈 1)	稲永 喜久子 (板付 2)	井手上 勉 (高宮)	疋田 慧子 (舞鶴)
	敷島 孝郎 (香椎下原 B)	新井 秀利 (多々良 B)	前田 利勝 (東月隈 2)	進 教治郎 (那珂南 1)	長沢 宣夫 (笹丘)	梶原 健児 (薬院)
	堀川 登 (香椎)	安河内 成一 (松島)	松浦 義美 (東住吉)	平田 藤夫 (那珂南 2)		
	荒牧 秀明 (香椎東 A)	小酒 保美 (昌松)	陶山 境 (春住)	林田 胤明 (三英 1)		
	松原 豪 (香椎東 B)	赤木 元 (箱崎)	伊東 信行 (堅粕)	中村 一郎 (三英 2)		
	大橋 信幸 (香椎浜)	高田 徳蔵 (東箱崎)				
	埋ノ江 功 (千早香後)	津留 英昭 (馬出)				

その他のお世話役

互助会業務委員	小杉 眞雄	拝崎 正次	原口 昌士
広報委員	安武 和芳	松井 洋治	井手上 勉
運營業務担当	木部 博海 (基幹事務)	青木 綜一 (基幹事務)	的野 房男 (基幹事務)
	舟木 勉 (基幹事務)	上田 茂子 (福祉家事援助)	樋口 章子 (福祉家事援助)
	水谷 勇兵 (安全・通正)	北原 正二 (公共)	伊藤 信之 (公共)
	外園 一彦 (公共)	倉岡 洋一郎 (公共)	峠田 穂 (配食サービス)
	田中 幸雄 (就業開拓)		田中 昌子 (基幹事務)
職 員	西山 祐子	梶木 靖子	井上 敏枝

今年度の各区役員のみなさんです。よろしくお願いします。

南 区		城 南 区		早 良 区		西 区	
奥田 健治	吉田 俊子	永富 陽		井上 洋保	小出水 美代子	桑野 孝春	井上 まゆみ
西村 允一 (約定)	三浦 薫 (清母)	尼崎 恒俊 (駐輪場)	後藤 忠彦 (約定)	天野 俊實 (駐輪場)	大久保 文生 (森と緑)	瀬口 次孝 (街頭指導)	関 林象 (約定)
小山 昌儀 (刈払・除草)	山本 珠子 (福祉家事援助)	白石 肇一 (迷惑駐車)	日野 国広 (除草)	服部 正義 (街頭指導)	石橋 勇治 (刈払)	吉川 春海 (刈払)	松尾 正秋 (除草)
野田 泰正 (駐輪場)	中原 民哉 (筆耕)	鳥部 一路 (街頭指導)	田中 志夫美 (刈払)	長澤 道雄 (区役所駐車場)	大原 重信 (刈払)	副島 和子 (福祉家事援助)	高津 富一 (筆耕)
小坂 正博 (配食サービス)	稲富 實 (街頭指導)	淵野 隆裕 (筆耕)	田中 清子 (福祉家事援助)	坂本 登美江 (資源回収)	大久保 富雄 (除草)	仲谷 仁平 (ヤフードーム)	
中野 邦治 (車両運転)				石橋 宣昭 (配食サービス)	関岡 法子 (福祉家事援助)		
				久保田 映光 (筆耕)			
山崎 博通 (高木)	三島 文城 (若久)	加藤 康禮 (城南)	田中 勝孝 (七隈 南)	三角 圭介 (山村)	岡本 正男 (賀茂 1)	岡田 律子 (玄洋)	桃谷 實 (愛宕浜)
金子 久 (塩原)	長井 義男 (大池)	白岩 薫 (島飼)	田中 清二 (片江)	松岡 伸一 (内野 1)	山本 淳 (賀茂 2)	末宗 國弘 (内浜 東)	影内 昌隆 (金武)
坂井 勇 (横手)	中野 幸枝 (花畑)	森 正俊 (別府 北)	隅田 昭一 (長尾)	井上 勝 (内野 2)	田上 和生 (原)	宮崎 貞義 (福重 西)	今村 治義 (福重 東)
池辺 哲子 (弥永 1)	井尻 司穂子 (宮竹)	窪田 民雄 (別府 南)	牧瀬 ミドリ (堤ヶ丘)	安元 正明 (入部)	吉村 壽晃 (石丸 西 1)	平満 一年 (石丸)	小島 拓 (内浜 西)
前田 浅松 (弥永 2)	臼井 菊良 (老司)	渡邊 達男 (田島)	浦川 勝彦 (堤)	田中 俊身 (飯原)	壺井 孝夫 (原西 2)	中野 誠 (今宿)	桑原 博記 (下山門団地 西)
武原 せい (弥永西)	村口 光子 (日佐)	棟近 輝雄 (金山)	下司 伊佐雄 (南片江)	長澤 洋子 (飯倉 2)	石山 達郎 (原北)	笠木 進一郎 (志岐南 A)	金子 寛治 (志岐 西)
山上 静子 (東花畑)	三浦 薫 (柏原)	中尾 義則 (七隈 北)		西本 俊司郎 (飯倉 1 飯倉中央)	畑 美春 (高取)	村岡 勝利 (城原)	吉松 和好 (下山門)
高濱 一郎 (野多目)	篠隈 文男 (西花畑)			福島 順子 (百道・百道浜)	白石 幸喜 (西園田 1)	岩津 志郎 (志岐)	広下 勝美 (周船寺 北)
因 光昭 (大楠)	井上 康司 (長住)			西村 弘幸 (野芥 1)	米倉 俊明 (西園田 2)	山口 俊彦 (姪浜)	上田 弘 (愛宕)
三木 由美子 (西高宮)	武田 幸雄 (西長住)			白垣 聖博 (野芥 2)	坂牧 義弘 (室見)	山崎 武之助 (周船寺 南)	柿原 茂夫 (西陵)
吉田 信行 (三宅)	橋本 正 (鶴田)			山本 弘子 (有住)	中村 芳信 (西新)	市岡 圭助 (志岐南 B)	中村 茂昭 (元岡)
滝本 栄次 (筑紫丘)	今村 常之 (東若久)			高嶋 紀久美 (有田 1)	野田部 節雄 (早良)	野口 満彦 (志岐東)	小倉 国利 (姪浜南)
坪内 徹雄 (長丘)	藤岡 靖憲 (玉川)			田中 正孝 (有田 2)	百田 曠二 (大原 1)	水崎 孝文 (今宿南)	
				佐々木 義博 (小田部)	大多和広行 (大原 2)		
				竹山 文夫 (田原 1)	泉 伸子 (田原 2)		

帯金 恒好		平田 萬子		安元 真彦		坂本 幸男	
高濱 一郎		藤 勇三		高橋 勉		岡崎 幸雄	
川崎 勝巳 (基幹事務)	丸山 弘子 (基幹事務)	渡辺 静子 (基幹事務)	喜田 博子 (福祉家事援助)	友納 恵 (基幹事務)	隠岐 紀久夫 (基幹事務)	佐々木 昭洋 (基幹事務)	藤原 幸徳 (基幹事務)
吉田 俊子 (福祉家事援助)	岡本 恵治 (基幹事務)	宮原 万亀男 (基幹事務)	高崎 眞行 (公共)	箕原 操 (基幹事務)	塩野 順子 (福祉家事援助)	小林 文枝 (福祉家事援助)	岩下 光彦 (安全・適正)
奥田 健治 (公共)	水間 信一 (公共)	高島 輝雄 (安全・適正)	藤橋 たか生 (配食サービス)	加藤 義春 (安全・適正)	井上 洋保 (公共)	田中 明 (公共)	成田 正義 (配食サービス)
江口 一 (安全・適正)	篠隈 文男 (配食サービス)	永富 陽 (公共)	平田 萬子 (就業開拓)	丸山 通弘 (公共)	國房 晃子 (配食サービス)	久保 美美子 (配食サービス)	桑野 孝春 (就業開拓)
内山 啓子 (配食サービス)	帯金 恒好 (就業開拓)			安元 真彦 (就業開拓)			
大津山 理恵子		山本 千尋		小笹 真樹子・才田 朋美		前川 美和	

「東支部シルバー農園」だより



4月30日、本部より池上常務理事、萩原事務局長、影田課長、堤さんの現地視察を受け、農園長の藤村会員、副長の堀会員、竹内専任担当理事他メンバーが説明にあたりました。

同農園は西鉄和白駅近くの塩浜埋立地区の海側にあり、砂地の未耕作地で約150坪の広さです。

1～2月に臨海処理場よりパーク(木の葉)や久山町の農家より牛フンを運びいれ土づくりから始めました。3月にはジャガイモを植え付け4月に入り芽摘みを行い、視察当日には白くて丸いジャガ玉を見ることができました。

現在、男爵・メイクイン・里芋・なすを植えており、ウコン・ピーナッツなども試験中です。5月中にはサツマイモを植え付け予定で秋の豊作と収穫を夢見ています。また、根菜類(芋・ねぎ・大根・ピーナッツ)に絞り栽培計画を立てているところです。

これから梅雨や日照りの日々がやってきます。備品庫や雨よけ、日よけも必要となってきますが、さらなる土作り、土壤にあった作物と肥料の種類や加減等、試行錯誤を繰り返しながら「無農薬で美味しいもの」を生産できるよう協力しながら農作業に精を出しているところです。

刈払就業希望者あつまれ

4月12日に本部主催の第1回刈払講習会が東支部で開催されました。東支部から10名余の参加があり、午前の座学は刈払機等による作業上の安全対策が主な講義内容でした。

午後の実技はあいにくの雨天で延期となり、4月20日、貝塚公園にて実技講習が開催されました。

大津専任担当理事他、関係者の見守る中で刈払機および芝刈機の安全な取扱いについて熱心に説明を聞き、その後、体験されていました。

その後、東支部刈払班のリーダーによる実技講習が貝塚公園で行われました。

これからは公園などの刈払除草のシーズンになります。安全第一で楽しく就業して頂ければと期待しています。

今後も刈払作業を希望される会員のために講習会を開催し、就業会員の増強を図っていく予定です。屋外作業で「健康と生きがい」と考えておられましたら、未経験の方も挑戦してみてもは如何でしょうか。



広報委員 安武 和芳

博多支部 はかたしぶ

第1回役員会開催



第1回役員会が4月19日14時からセンター1階会議室で、坂井委員長・田中専任担当理事および職群班長・地域班長等53名の出席で開催されました。

議事の内容は、次のとおりです。

1. 4月支部運営検討委員会の報告
2. 平成22年度役員交替の件
3. 平成21年度経過報告
4. 平成22年度運営方針

坂井委員長挨拶要旨

こんにちは。皆さん方お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

2月に委員長のご推薦をいただき、4月から委員長として皆さんのご協力を得ながら、また、新しい会員さんのために田中専任担当理事と共にしっかりやって行きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、平成21年度の事業経過報告および22

年度の事業運営方針と目標について、皆さん方のご意見をいただきながら、支部運営に反映して行きたいと思っております。

新副委員長の選任につきましては、支部運営検討委員会に諮り承認を得て委員長推薦で、倉岡洋一郎さんと原涼子さんを推薦しましたので、両副委員長をよろしくお願いいたします。

坂井委員長の挨拶後、それぞれの議題について説明がなされ、出席者の質疑応答が終了し、全会一致で了承されました。

なお、次の退任される役員の皆さんに、坂井委員長より感謝状が贈られました。(敬称略)

副委員長	桜井 厚宏	古賀 月恵
職 群 班	権藤 辰夫	松尾 益枝
地 域 班	實久 文人	松本 昌子
	後藤 仁	吉村 通芳
	薄 隆之	

感謝状を受けられた会員の皆さん、長い間、ご苦勞様でした。

第1回 新入会員研修会が実施されました

本年度の第1回新入会員の研修会が4月30日にセンター会議室で開催されました。

当日は、17名(男性8名・女性9名)の出席がありました。

まず、新会員の皆さんに会員手帳と会員証が交付されました。続いて、坂井委員長の挨拶があり交付された真新しい手帳の記載内容について、事例を挙げながら説明されました。特に、傷害保険の通院給付が2,000円から1,000円に変更されること、来年度から廃止が予定されている交通費など、新会員の皆さんは説明に耳を傾けながらも、記載内容について質問するなど熱心な研修会でした。

4月9日現在の会員数は、1,005名(男性609・女性396)です。7支部の中では第5位の会員数となっており、博多支部の会員増加が望まれます。

広報委員 松井 洋治

女性会員のつどい開催



平成21年度女性会員のつどいが3月12日(金)午後1時30分から福岡市市民福祉プラザ(ふくふくプラザ)で105名が参加して開催されました。

江口委員長から「女性の就業におきましては、デリケートな問題やストレスが溜まることもあると認識しております。日々就業される中で個人的に悩み事が発生した場合は、会員、事務所、発注者で話し合い、一人で抱え込まずに前向きに就業できるようにしていきたいと思っております。従いまして未就業の方も含め、事務所へお気軽にご相談ください。

なお、今日は本会員のつどいを楽しく盛り上げるためにアトラクションとしてフラダンス、マジックショーを予定しておりますので楽しみにしておいてください」と挨拶がありました。

大田副委員長からは、女性会員のつどいについて主旨説明がありました。

「2月末、中央支部女性会員は総員327人で、支部会員の40.7%を占めております。主な就業先はビル・マンションの清掃、除草、公園清掃、家事援助サービスですが、21年度の特徴として、子育て支援が増加しつつあります。会員の皆様にはぜひ、就業のチャンスを広げるために講習会を積極的に受講なさるようお願いします」という報告でした。

次に、会員の岡部久子さんから就業体験談が発表されました。

「日頃、就業している中で考えている事をお話いたします。私はシルバーという名前を持って

仕事に行く事がとっても楽なんです。それは、就業先の人が、シルバー人材センターの人が来るんだと何の抵抗も無く受け入れてくれるからです。以前、働いていましたスーパーでは若くて美人でナンバーワンの人を求めていると知り大変ショックを受けました。それから10年肩身の狭い思いをしながらも勤め、60歳で退職しました。

その後、何かの本で読んだ『さびしい人は、仕事を持たない人だ』という文言に肩を押され、思い切ってシルバー人材センターを訪ねました。

すると『あなたみたいな若い人が来てくれると助かる〜!!』と言われ、シルバー人材センターでは『私は若いんだ!』と驚きと嬉しさですぐに気持ちが決まり現在に至っております。

就業先での思い違いなどで失敗の体験もありましたが、年齢に敏感だった私は、今、シルバー人材センターの名の下で事務所を信じてがんばっていきたいと思っております」

会場には惜しみない拍手が響きました。そして、何事も前向きにがんばっていらっしゃる岡部さんの率直な話に共感したり、励まされたり、会員一同のハートに響いた発表でした。

最後にアトラクションとして同好会の方によるフラダンスと西日本奇術の方によるマジックショーが華を添え、大田副委員長の閉会の言葉とともに終了いたしました。

第1回役員会開催

4月20日(火) 午前10時から中央支部5階会議室で役員会が開催されました。

江口委員長から平成21年度配分金実績について報告があり、続いて適正就業について主旨説明がありました。

1. シルバー人材センターの適正就業とは臨時的、かつ短期的な就業、おおむね月10日程度。その他の軽易的な業務に係る就業は、おおむね週20時間。
2. 長引く経済不況により、受注の落ち込みとそれに反して会員の増による就業率の低下。
3. 会員間の就業機会の格差を是正する必要が

あること。

4. 本年度、当支部は指定管理者制度の申請が最大の課題で、現在各駐輪場を訪問している。
5. 公益法人制度改革への対応として就業実態が公益法人の認定に合致したものであること。

次に岩男安全・適正担当者からは、21年度安全就業について報告があり、安全就業は適正就業と表裏一体の関係があると、その重要性を強調されました。

その他、委員長から役員人事および事務補助員の変更について承認伺いと報告がありました。

広報委員 井手上 勉

南支部 みなみしぶ

配食サービス班の報告 —笑顔と無事故運転を大切に—



山本会員

こぬかあめ
小隼雨のなか、4月22日(木)の早朝に南市民プール前で配食会員と会い、忙しい中を取材しました。

現在、配車台数は4台で就業会員18名、就業日数は13日前後、月平均1台の配食車で450食、1日平均10～20食を利用者に届けます。年間を通して配達しない日は、年末・年始の3日間だけです。小坂配食班長は常日頃から次の三点を留意するように指導されています。

1. 事故を起こさない、遭わない。

バックやUターン、無理にハンドルを切りすぎない。

2. 利用者の安否確認

明るい笑顔とやさしい言葉づかい、インターホンの対応に慌てない(ゆっくり待ってあげる)。

3. 配食全般のミス無くす

配達ミス、安否確認ミス、集金ミス、事務上のミスなど、一切のトラブルをも許さない就業であることを自覚すること。

今春、配食班に加入された山本会員は、「家を出る際は手首を洗って清潔にしています。又、ランチを手渡す時、熱い吸い物のふたを開けてあげます」と、一寸した気遣いから利用者に対する心配り、気配りで安否確認をする様子が想像できます。

私たちは、ややもするとランチの配達をすると思いがちです。しかし、実際の業務はやさしいものではなく、時間に追われ、交通渋滞に遭い、台風や雪の日などは配食会員は歩いて配達することもあり、その苦労は大変なものです。万一、利用者が不在であったり、返答がない場合は非常時と判断し、その対応に相当な時間を費やします。

配食班のみなさんが健康に留意され、「共働・共助」の精神を持って活躍されますよう祈念します。

ボウリング同好会 —趣味と健康のために—



やわらかな陽光を浴びて、草花が咲きほころぶ季節、4月16日(金)の午前10時に「大橋シティボウル」を訪ねました。

月1回の定例練習会とあって、6階に上がると既にミーティングを終えていました。この同好会は昨年に誕生し、2年目です。現会員は21

支部通信

名で、女性会員が半数を占めています。なぜ、ボウリングに興味と関心が高いのか定かではありませんが、仲間と語らい、一喜一憂しながら心が癒される「優しい時間」を求めているのではないのでしょうか。

ゲームが開始されると、会員たちの表情も緊張感から期待感へ変わってきます。ストライクが出ると拍手とハイタッチの連続。スペアが取れない時やガターに落ちると「アー」というため息等々、にぎやかな雰囲気でした。休憩時に入会された動機を尋ねますと、「健康増進と仲間との楽しい会話です」、「ボウリングや散歩で足腰を鍛えていますので一挙兩得ですよ」、「若い頃は、スコアも209点出しましたが、今は到底無理です」、「私、88才の高齢者の方を月1回連れて参りますが、150点は出されますので驚くばかりです」と、語っていました。自分の好きなことに熱中すると全てを忘れ、楽しいことだけが心の中に残って、明日への原動力となります。会員みなさんもボウリングを通して、学ぶものがたくさん発見できると信じます。

広報委員 高濱 一郎

城南支部 じょうなんしふ

さざなみ福祉会のチャリティーバザーにボランティアとして参加



前日の準備の様子

社会福祉法人さざなみ福祉会（福岡市城南区荒江）主催による恒例のチャリティーバザーが



バザー当日

4月25日、福岡YMCA国際専門学校で開催され、支部会員12名がボランティアとして参加、会場を盛り上げました。

社会福祉法人さざなみ福祉会は、てんかんや知的障がい者が暮らしやすい社会の実現に取り組んでいる団体です。同会は、てんかんや知的障がい者が労働することによって社会貢献を果たし、市民の一人として社会に参画していきたいという願いからビル・個人宅の清掃や菓子製造、屋久杉を活用した箸製造の事業を初め、各地でチャリティーバザーや講演などを行っています。

小阪委員長は「このバザーには、2年前からシルバー人材センターの普及啓発を兼ねてバザー商品の搬入や陳列、食バザー作り、レジ、販売などをお手伝いさせていただいています。今回は手芸サークルや支部の事務担当の会員さんがボランティアとして参加されましたが、皆さん生き生きと活動されていました。天気にも恵まれて大盛況でしたし、センターのPRになったと思います」と、手応えを感じた様子でした。

参加された会員は次の通りです（敬称略）。

小阪昭南、末松智恵子、平田萬子、渡辺静子、宮原万亀夫、永富陽、井上房子、徳永年世、錦戸妙子、加来輝代、白岩薫、石橋登志子。

広報委員 藤 勇三



早良支部 さわらしぶ

第1回支部役員会開催



4月23日(金)の午後に、平成22年度第1回役員会が委員長はじめ41名の役員が出席して支部会議室で開催されました。

まず中村委員長から新年度となり役員の交代が9名(職域班長7名・地域班長2名)あったとの報告があり、新役員の紹介がありました。

続いて、委員長から次の説明がありました。

「支部の現状」について

平成21年度末での福岡市全体の会員数は7,005名で目標の7,000名は達成していますが、配分金は不況の影響もあり前年比98%と厳しい結果になりました。一方、早良支部の会員数は1,108名となり目標の1,100名は市全体と同様に達成していますが、配分金は残念ながら99.2%と若干の未達となっています。会員の内訳は男性783名・女性325名で女性が少ないのは残念です。就業している人は618名で就業率は56%となり、未就業の方々は積極的に事務所へ来て頂きたいと思います。

「公益法人制度の改革」について

「シルバーだより4月号12ページ」に詳しく説明されていますように、福岡市シルバー人材センターは、①社会的信用を得る②税制優遇を受けるなどのために、平成23年度には公益社団法人への認定申請を予定しています。このため、申請に係る準備と適正就業を更に推進することになります。

又、5月10日から上川端商店街での「会員の作品展示販売」および5月27日開催の「平成22

年度通常総会」についての案内がありました。

次に、五島副委員長兼安全・適正就業対策担当から、改定される「シルバー保険」について説明がありました。

最後に、中村委員長から早良支部として独自事業(シルバー農園)を実施したいとの提案があり、これを推進することになりました。このため、適当な農地があれば紹介願いたいとの要請がありました。

チンドン・オーケストラと歌う



3月19日(金)10時から開催された「会員の集い」のアトラクションとして、「チンドン・オーケストラ」による演奏会がありました。

この「チンドン・オーケストラ」は、平成14年にNPO法人「シニアネット福岡」(会員約500人)の有吉和利さん(82歳)が中心となり、有志約40人を集めて設立されました。平均年齢は67歳で最高年齢の方は84歳とのことです。身近にある音の出るもの(鍋・フライパン・釜等)も持ち寄り、主に市内の公民館・福祉施設・寺社等を、毎月1~2回程度回って演奏しているようです。

メンバーのレベルアップのため、月に2~3回は中央区の「ふくふくプラザ」で練習を重ねられ、その甲斐があつて持ち曲は約100曲になったそうです。この「チンドン・オーケストラ」の演奏で、皆が知っている懐かしい歌や楽しい歌16曲を、会場全体の大合唱で例年になく盛り上がり、会員にも大好評で、普段のストレスを吹き飛ばしました。



広報委員 高橋 勉

役員会開催



西支部では4月20日(火)に平成22年度第1回役員会が開催されました。

桑野副委員長の司会により開会となり、岩本委員長の挨拶があり、引き続き、次の項目に従って報告および発表等がありました。

1. 21年度西支部事業経過報告
2. 会員登録状況・就業状況
3. 安全適正就業・事故発生状況
4. 22年度、西支部新役員紹介
5. その他(シルバーだより配布について・野球観戦券について等)

連絡事項として、22年度通常総会開催の件で説明がありました。

21年度の当支部業績をみると、予算対比、対前年比とも若干下回っているが、やはり景気およびそれに伴う就業の厳しさが反映しているようです。又、当支部では業績2位の地位にある「各種自動車運転」について「適正就業」等の観点から、23年度から見直す方向で検討されております。

希望的観測では、西区の駐輪場管理業務が、今年は「指定管理者」への申請の年となっており、指定されれば23年度から業務開始となることです。

西支部は「公民」の受注比率で「公」が20%と、他区と比べ比率が低くなっています。今後とも地域の方々へのPRを強化する必要があります。

事故発生状況では、当支部を含め、全市でも対前年比マイナスになっているが、全国的には重篤事故が増加の傾向にあります。

今後とも、就業途上、就業中といわず、一層安全意識を徹底したいものです。

連絡事項、質疑応答などがあり、新役員を中

心に、新年度一層の活躍を誓い合い閉会となりました。

“筆耕班の或る日” 「それぞれの課題に取り組む」



当支部には、筆耕班の会員が16名います。

例年年度末になると、幼稚園、保育園や学校などから、卒園証書・卒業証書の名前書きなどの依頼が入ります。又、地域の団体から感謝状宛名書き等の依頼もあり、筆耕班はその時期、年中行事的に忙しくなりますが、パソコンの普及などから、以前に比べれば、依頼数が減っているようです。それでも筆耕班の会員は、趣味と実益を兼ねて日々楽しんでいます。

筆耕判定会の7科目で、全科目取得されている会員は、当支部では8名います。今から判定会に挑戦しようと思う会員や、7科目の内の未修得科目への挑戦を目指す会員が、毎月3回程度(水、金)の勉強会を開いています。

勉強会のある日のこと、この日は高津班長他7名が支部会議室で勉強中でした。高津班長の側で、それぞれの会員が、自分が書いた「書」を班長に見てもらいながら、「賞状の書き方」等、自分が取り組んでいる課題について、指導を受けていました。

高津班長は「私は会員に書の指導をしているのではありません。“バランス”(字の大きさ、間隔など)の作り方を一緒に勉強しておるのです」と、そして「私たちは“字書き集団”ですよ」と笑っておられました。

高津班長の言葉を聞きながら、「社会生活の原点」それはバランスではなからうか。バランスが崩れたとき、トラブルや不幸が生まれるのではないかと思った取材でした。

広報委員 岡崎 幸雄

JR今宿駅からほど近い所に、鉄筋コンクリート5階建ての真新しい建物があります。それが「福岡国際育英会 留学生会館」です。

外国からの留学生に、少しでも良い環境で勉学、生活をしてもらいたいと願って、ある篤志家が私財を投じて建設されたのが「留学生会館」です。

九大伊都キャンパスに近い今宿に、昨年(2009年)4月建物が完成しました。

完成を心待ちにしておられた篤志家は、その完成を見ることなく、その年の2月に他界されました。

高級マンションにも匹敵する居室や充実した設備、そして「日本語教室」や「料理教室」があり、時には入居者同志の親睦食事会などで、入居の学生・家族は快適に生活されておられます。

現在、12カ国、20家族が居住されております。

今年2月から、当会館の階段、廊下やランドリー室などの清掃を、シルバー人材センターにご用命頂き、現在週2

公益財団法人 福岡国際育英会 留学生会館



日2名の会員(山下会員、渡辺会員)が就業しています。

篤志家の篤い思いを伝える「イランのナツメヤシ」が玄関先で見つめる中、留学生達はさぞ日本の良い思いを母国に伝えることでしょう。

広報委員 岡崎 幸雄

事務局職員一覧

本部・各支部の職員を紹介します。よろしくお願いします。

所 属	職 名	氏 名	所 属	職 名	氏 名
事 務 局 長		萩 原 信 吾	業務第2課	課 長	影 田 博 志
			//		堤 雅 也
総 務 課	課 長	出 来 和 美	//		河 野 順一郎
//		高 宮 義 徳	//	(派遣)	川 島 瑠美子
//		吉 田 真 人	//	(派遣)	中 島 由 理
//		原 真 理	東 支 部		西 山 祐 子
//	(派遣)	花 田 彩	博多支部		樗 木 靖 子
業務第1課	課 長	中 垣 秀 俊	中央支部		井 上 敏 枝
//		山 田 裕 子	南 支 部	(派遣)	大津山 理恵子
//		門 田 昭 弘	城南支部		山 本 千 尋
//		藤 永 加奈子	早良支部		小笹 真樹子・才田 朋美
//		宗 正 由美子	西 支 部		前 川 美 和

平成22年度 実績報告

(4月末現在)

● 会 員 数	7,079名	● 就業者数	3,747名
男 性	4,654名	● 就 業 率	52.9% (月平均)
女 性	2,425名	● 事業収入	1億7,287万円

平成22年度 事故発生状況

(4月末現在)

● 傷害事故	3件 (前年同期 4件	前年度比 - 1件)
● 賠償事故	1件 (" 2件	" - 1件)
● 車両事故	0件 (" 1件	" - 1件)
● 計	4件 (" 7件	" - 3件)

■ 傷害事故 (3月1日～4月末日)

日付	就業中 途上	性別	年齢	仕事内容	事故の状況	部位	症状	傷害の程度		
								入院	通院	手術
3/9	就業中	男	68	チラシ配付	夜間・降雨の中、チラシ配付作業を行い、作業を終了して駐車場へ車を取りに行こうとしたところ、車止めブロックにつまずいて転倒し、顔面を強打した。	鼻・額・頬	打撲		○	
3/9	途上	男	73	屋外清掃	バイクで就業先へ向かうため、渋滞の道路を直進中、脇道から右折しようと進入して来たタクシーがバイクの左後部に接触し、バイクが反対車線側に転倒した。	頸部・腰部・両肩・両肘	捻挫・打撲		○	
3/23	途上	女	62	屋内清掃	自転車で就業先へ向かう途上、道幅の狭い交差点付近にて、停車中の軽自動車の横を通り過ぎようとした際、軽自動車から急に発進してきて接触し、自転車が転倒した。	頭 部	打撲		○	
4/1	就業中	女	63	配 食	就業先にて、弁当の届け先から配食車に戻る途中、建物から外部に出る4段の階段を降りていたところ、階段先端部のタイルが雨で濡れていたため、足を滑らせて転倒し、背中を強打した。	背 中	圧迫骨折		○	
4/16	就業中	女	70	屋内清掃	就業先にて、お湯の入ったやかんを事務所から別棟の工場へ運ぼうとした際、事務所裏口を出て2段の階段を降りた所で足がもつれ、道路に出る手前の高さ約5cmの段差につまずいて、前方に転倒した。	膝・足首	打撲		○	
4/21	途上	女	65	窓口案内	就業先にて接遇研修を受講し、自転車を運転して自宅へ戻る途上、後方から走行してきた自転車が、交差点付近で急に左折してきて前をふさいだため、その自転車と接触し、転倒して右手を強くついた。	右手首	骨 折		○	

■ 損害賠償事故 (3月1日～4月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
3/6	女	67	屋内清掃	就業先にて、マンション共用部分の清掃作業中、廊下側の壁及び扉付近を水洗いしていたところ、玄関ドア下部より水が浸入し、階下の玄関に漏水が生じて、天井のクロス及び照明灯に被害が発生した。
3/26	男	66	会員のつどい	支部会員のつどいを開催し、会場の片付けを行っていた際、使用した演台を台車で運搬していたところ、演台が台車から落下して壁に接触し、演台と壁の一部が破損した。
4/6	男	74	駐車場	就業先駐車場にて、左右に張ったチェーンをリモコン操作で昇降することで出入口の開閉作業を行っていた際、利用客への確に指示を出さなかったため、チェーンが下まで降りきっていない状態で入庫車両が進入して来て、車体前部がチェーンと接触し、バンパー及びフロントフェンダーに傷がついた。

■ 自動車事故 (3月1日～4月末日)

日付	性別	年齢	仕事内容	事故の状況
3/3	男	67	運 転 (回送業務)	整備済み車両を運転して届け先に納車に行った際、駐車場へ入庫しようとバック中に、後方と上方にばかり気をとられ、左側に駐車中の2トントラックと接触し、双方車両のミラーおよび運転車両の左側窓ガラスが破損した。
3/26	男	66	配 食	配食車の代車(レンタカー)を運転して利用者宅へ行った際、家の前で大型トラックが荷下ろし中で通行できなかったため、同乗者が徒歩で弁当を届けに行った。その間、隣接する駐車場入口付近で方向転換のためバックしたところ、車体右側が駐車場の境界ブロック塀と接触し、ブロック塀の一部および車体右後部スライドドアが破損した。

◆◆◆平成21年度 県連合「安全標語」入賞作品◆◆◆

慣れた手と 慣れた心に ひそむ事故

平成22年度 会議開催状況（4月～5月）

●理事会

回	開催月日	議案
1	4月28日(水)	●正会員の入会について ●会員の支部業務就業に関する要綱の一部改正について
2	5月6日(木)	●役員の選任(候補) ●平成21年度事業報告 ●平成21年度決算報告 ●公益社団法人への移行について ●平成22年度通常総会に付議すべき事項について
3	5月27日(木)	●正会員の入会について

●総務部会(委員長理事の会議)

回	開催月日	議案
1	4月21日(水)	●未収金対策について ●平成22年度通常総会について ●交通費の見直しについて
2	5月19日(水)	●未収金対策について ●平成22年度通常総会について ●交通費の見直しについて

●業務部会(専任担当理事の会議)

回	開催月日	議案
1	4月23日(金)	●平成22年度通常総会について ●交通費の見直しについて ●上川端商店街の店先活用事業について ●業務部会の取り組みについて
2	5月21日(金)	●平成22年度通常総会について ●交通費の見直しについて

●合同部会(総務部会と業務部会の合同会議)

回	開催月日	議案
1	4月28日(水)	●総務部会及び業務部会報告 ●平成21年度3月事業実績について ●交通費の見直しについて

●安全・適正就業対策委員会

回	開催月日	議案
1	4月28日(水)	●平成21年度事故状況について ●損害賠償の審議事項 ●平成22年度事業計画について

●互助会業務委員会

回	開催月日	議案
1	4月1日(木)	●「ハイキング」の開催について ●「歴史探訪」の予定について ●平成21年度互助会決算報告について
2	5月13日(木)	●「ハイキング」の開催について ●「囲碁大会」開催の準備について ●平成22年度通常総会後のアトラクションについて

互助会だより

【平成22年度 互助会事業計画】

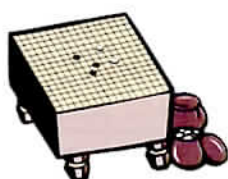
平成22年度 行事内容

★ハイキング（結果報告）

開催日時……平成22年5月20日(木)

開催場所……駕与丁公園

参加者………86名



★囲碁大会

開催日時……平成22年7月25日(日)

開催場所……中央支部

参加予定………35名

★ボウリング大会

開催日時……平成22年9月15日(水)

開催場所……未定

募集要領……シルバーだより掲載(8月号)



★歴史探訪

開催日時……平成22年9月28日(火)

開催場所……未定

募集要領……シルバーだより掲載(8月号)

★ゴルフ大会

開催日時……平成22年11月中旬

開催場所……未定

募集要領……シルバーだより掲載(10月号)



★演芸大会

開催日時……平成23年1月中旬

開催場所……未定

募集要領……シルバーだより掲載(12月号)

※各行事について詳しくは、支部互助会委員にお尋ね下さい。

“シルバーギャラリー”がオープン!!

市長さんもお買い上げ!!



5月10日オープンの“シルバーギャラリー”からのお知らせです。

会員の皆さんのあたたかいご協力で、手作り作品即ち「手芸品」の展示販売を始めました。

開店当日は、生田理事長のほか、上川端商店街振興組合の原理事長、店先を貸して下さる古賀仏壇店の古賀常務様もご出席頂き、チンドン屋の応援も加わり華々しくスタートしました。

「手芸品」の評判も大変よく、5月20日には、5月10日のオープニングセレモニーの新聞記事を見られた吉田市長が立ち寄って下さり、市長は「布ぞうり」を“これはすばらしい”と買って頂きました。

このシルバーギャラリーは、会員さんが心を込めて一生懸命に作った「手芸品」です。

皆さんも、是非一度上川端商店街のシルバーギャラリーにお立ち寄りになってみて下さい。

祝日を除く、月～木曜日の午前11時から午後5時までやっています。



わが町の歴史散歩 14 早良区編

元寇の足跡を訪ねて —元寇古戦場跡と元寇防塁—



地下鉄の西新駅から、早良街道(263号線)を南へ約800メートルの「祖原公園東口」交差点を右折して、まっすぐに坂を登ると、祖原公園に着きます。

ここが1274年(文永11年)10月20日に、蒙古軍が本陣を置いたと言われている所です。

ご存知のように、13世紀の初めに、チンギス・ハンはアジアからヨーロッパにまたがるモンゴル帝国を打ち立てました。その孫の五代皇帝フビライは、国名を「元」と改めて、日本に使者を送り通交を求めましたが、鎌倉幕府がこれに応じなかったため博多湾に攻め込み、百道原に上陸してこの祖原山に本陣を置いて、日本軍と激しい戦いを繰り広げました。日本軍は元軍の集団戦法、新兵器に苦戦しましたが、たまたま大暴風雨があり蒙古軍は撤退しました。これが「文永の役」です。

祖原山(標高33メートル)は現在公園となっており、この頂上には「元寇祖原戦跡」の石碑が建っています。今はビルが立ち並んで見通しは良くありませんが、当時は遥かに見通しがきいて、陣を構えるには最適な場所であったでしょう。

再び西新に戻り、明治通りを渡って西新通りを歩いて西南学院大学の1号館に行きます。ここには校舎内に「元寇防塁」が復元・保存されて

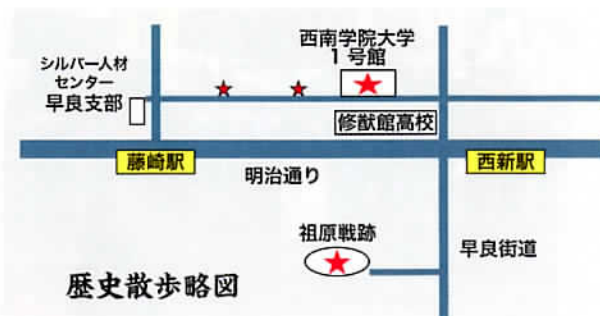


います。この校舎の新築にあたって、1999年(平成11年)に遺構が検出されました。

元寇防塁は「文永の役」の後、元の再襲来に備えて築造されました。今津から香椎まで約20キロに渡って、半年という短期間に分担して築いたので、場所によって築造方法が異なっています。ここの防塁は、高さ2.4メートルの本体の両面を石積みで堅固に整えて、中には粘土と砂を交互に詰めており、又南側には土塁があり、石塁と土塁の二列構造になっているのが解ります。

西南学院大学から西に少し進むと「元寇神社」があり、側に西新の「元寇防塁」を見ることが出来ます。続いて西にまっすぐ歩くと、右に百道の「元寇防塁」があります。さらに西に行くと百道通りに出ます。そこを左折するとシルバー人材センター早良支部があり、その前を通って地下鉄の藤崎駅に着きます。

運動不足解消のため、昔を偲びながら歩いてみたら如何でしょうか。



広報委員 高橋 勉

南アフリカの旅 ②



～キリンのフン飛ばし～

城南区家事援助班 田中 清子

南アフリカ、ザンビア、ジンバブエを旅してきましたが、景観や生活習慣はもちろん、動物との接し方も日本とは随分違っていています。日本に限らず先進国では、檻の中の動物を外から眺めるとというのが一般的でしょう。放し飼いの動物を車中から見ることもできますが、この場合はクルマという“檻”に入っているのは人です。いずれも、観光客の安全は確保されているわけ

です。ところが、今回旅した国々では、基本的に動物は放し飼い。窓を開けると、そこにチーターが寝そべっているといった光景は珍しくありません。徒歩で移動中にシマウマやバブーンの群れに何度も遭遇しました。クルーガ国立公園ではゾウやキリンたちの出迎えも受けました。ライオンとバッファローの対決にも遭遇しました。動物は自然に近い形で暮らしており、人と動物とがうまく共存しているようです。

自然と言えば、キリンのフン飛ばしなるものを体験しました。フン飛ばしと言ってもフンを投げるのではなく、指で弾くのもありません。そこらに落ちているキリンのフンを口に含んでどこまで飛ばせるかを競うものです。ちょうど、柿の種飛ばしみたいなものでしょうか。私は日本人観光客を代表して参加しました。

「フンを口にするなんて」と眉をひそめる人がいるかもしれませんが、キリンは雑食性ではありません。木、それも高い所の葉しか食べないので汚ないとは思いません。それに、何より不潔を感じさせない雰囲気こそそこにはあります。動物公園では、銃を持ったガイドが付き添っていますが、安全が保障されているわけではありません。それでも世界から観光客がやって来ます。リスクを承知で野生に触れてみたい、体感してみたい。そう思うからでしょう。つまり、リスクもアフリカ観光の魅力の一つなのだ。そういう思いを強くした旅でした。



一挙三徳！

西支部 岩井 久子

今年の春、立ち上げた小物作りのサークル「ふようの会」は、会員二十三名でスタートしました。月二回の例会では、芸能界の噂話や、最近の話題に花が咲いたりして、時々小物を作る手が止まるなど、楽しいひと時を過ごしております。

折角出来上がった品を、自分だけが楽しんだり、使用するだけでは「消化不良？」になります。

そこで、入院中の子ども達に差し上げたらどうだろうかと、との事で、早速「国立病院機構 九州がんセンター」に声を掛けてみました。病院では快く受け入れていただき、四月二十七日に、西嶋理事と出来上がった小物を持って伺いました。

特殊な病院ということもあって、直接入院中の子ども達に会って手渡すことは出来ませんでした。が、この日は、職員の方に自分達の「気持ち」も一緒に届けることが出来ました。

「作ることで自分自身楽しみ」「サークルで友達が出来」「人に差し上げる事で喜ばれる」という「一挙三徳」です。

事務局からのお知らせ

平成22年度 会費の口座振替について

シルバーだより4月号(第111号)でお知らせしましたとおり、5月20日に会費の口座振替を実施しましたが、預金残高の不足などで口座振替ができなかった方がいます。

上記の方については、以下の日程で再度口座振替を実施しますので、実施日の前日までに、ご登録の預金口座へ入金をお願いします。

口座振替 平成22年7月20日(火)

会費の口座振替「未登録者」の方へ

会費のお支払いがお済みでない方は、お早めに納入下さい。

なお、会費を納入する際、口座振替の登録をしている方は、配分金等のお支払い口座から会費を振替で納入することができます。口座振替の登録を行うと金融機関へ出向く必要がなく、金融機関へ支払う手数料もかかりません。

まだ口座振替の登録を済ませていない方は、是非この機会にご登録下さい。



6月は紫陽花(あじさい)の開花時期ですが、紫、ピンク、青、白など雨に濡れた花も情緒があるものです。花の色は酸性土壌では青色が強く、アルカリ性土壌では赤色が強くなると言われており、花言葉は「辛抱強い愛情」だそうです。

6月といえば、24節気のひとつ「夏至」があります。今年は6月21日頃にあたり1年の中で、最も昼間が長く夜が短い日となっています。「冬至」と比べると昼間が4時間50分ほど長いと聞いています。暦の上では夏にあたりますが、実際には梅雨の季節で蒸し暑い時期です。健康に留意したいものです。

(社)福岡市シルバー人材センターの通常総会が5月27日に開催され、平成22年度の事業が本格化するのに併せて、役員・会員が一致協力し、目標達成に向けてスタートする大事な月でもあります。

会員の皆さんには「就業先の開拓」と「会員の加入促進」にもご尽力をくださるようお願い致します。

(Y.M)

「ふくおかシルバーだより」

発行元／(社)福岡市シルバー人材センター

◎ご意見やお便りをお待ちしています。

〒812-0044 福岡市博多区千代1丁目21-16 TEL(092)643-8200 FAX(092)651-5000 <http://www.fukuoka-sjc.org/> e-mail honbu@fukuoka-sjc.org